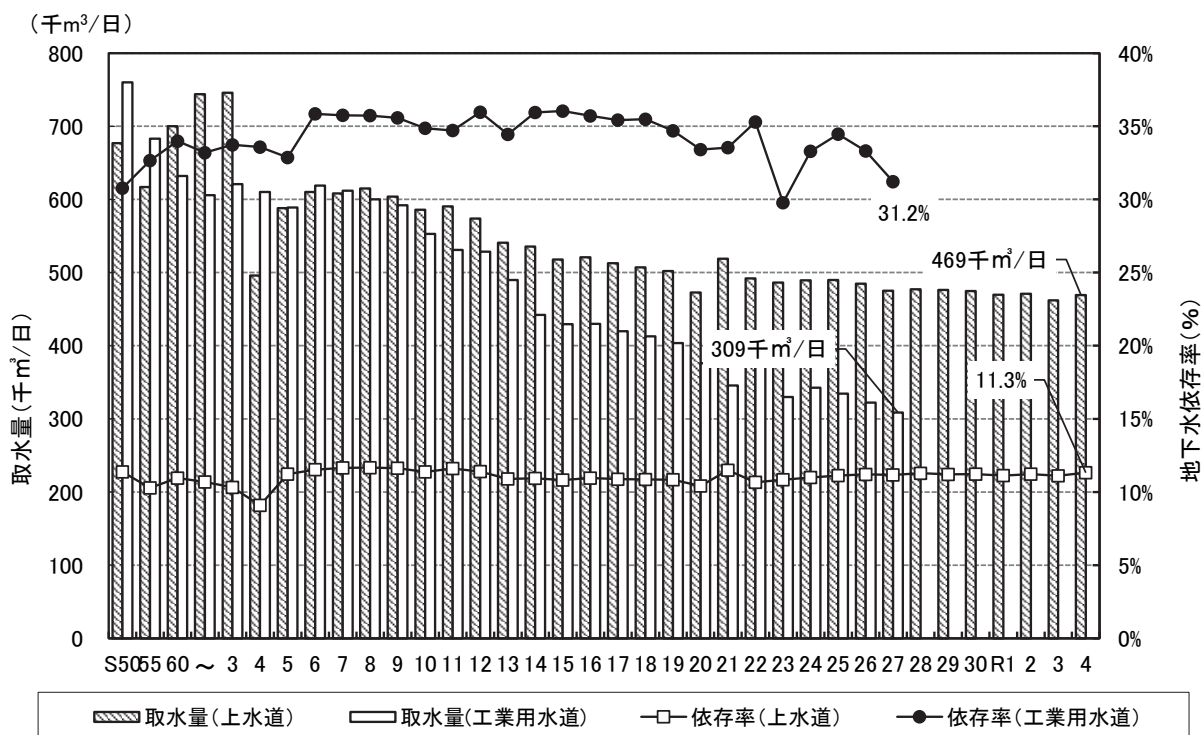


## 5. 地下水

### (1) 利用水量

地下水は、良質、簡便で安価な水資源として生活用水をはじめ各種用水として広く利用されてきた。個々の使用者が独自に設置した取水施設により地下水を取水するため、正確に取水量を把握することが難しいが、上水道における地下水取水量は、令和4年度現在約46.9万 $\text{m}^3$ /日となっている。また、地下水への依存率は近年、概ね横ばいで、令和4年度は11.3%となっている（図2-8）。

工業用水からみた地下水取水量は、平成27年現在約31万 $\text{m}^3$ /日となっている。また、地下水への依存率は近年、概ね横ばい傾向で、平成27年は31.2%となっている（図2-8）。



【図2-8 地下水利用量】

注) 工業用水に関する集計は、琵琶湖・淀川流域に一部または全部が含まれる市町村を含む工業地区を対象とする。

注) 平成28年度以降の工業用水に関する集計は、「工業統計表」の該当項目が削除されたため反映されない。

公益社団法人日本水道協会「水道統計 施設・業務編」  
 経済産業省経済産業政策局「工業統計表」および  
 総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査結果」より作成